

平成29年度埼玉県退職校長会の主な行事予定

- 定期総会：平成29年6月9日(金) 共催事業(講演会・美術展・懇親会) 開催 鴻巣市・鴻巣市文化センター
- 支部総会：5月
- 県知事・県教委等への要望書提出：平成29年9月他
- 「彩の国教育の日」協賛、現・退校長教育推進協議会：平成29年10月～11月(各支部12会場)
- 現・退校長会役員研究協議会：平成29年12月
- 囲碁大会：平成29年10月10日(火) 別所沼会館
- 理事会：平成29年10月、平成30年3月(年2回)
- 支部長会：平成29年5月、9月、平成30年2月(年3回)
- 第12回ゴルフ大会：平成29年10月16日(月)吉見ゴルフ場

支部情報

<比企支部>の活動紹介(平成28年度)

- 定期総会 平成28年5月21日(土)午前10時30分～ 於：東松山市 紫雲閣 終了後 歓送迎懇親会
- 理事会(正副会長 理事 幹事)年4回 ○幹事会(会長 幹事)年9回
- 行事 ①日帰り研修旅行 10月12日(水)長野県上田市、上田城址・真田丸ドラマ館・北向き観音見学
- ②現職・退職校長教育推進協議会(主催：比企地区退職校長会・後援：東松山市教育委員会)
平成28年11月10日(木)2:00～4:30 於：東松山市民活動センター
〈提案者〉現職校長 小川町立榎台中学校長 山本 高志 氏「地域の教育力を最大限に活用した教育活動の工夫」
退職校長 川島班 岡部 巖 氏「生かされて今 地域に生きる」
- ③会報発行・平成29年1月19日「比企地区退職校長会会報」第32号(年1回発行)
- ④新年祝賀会・平成29年1月23日(月) 於：東松山市 紫雲閣

平成29年度 教員採用選考試験結果

	埼玉県				さいたま市			
	1次受験者	1次合格者	採用候補者	倍率	受験者	1次合格者	2次合格者	倍率
小学校教員	2,598	1,568	821	3.2	549	302	140	3.9
中学校教員	2,598	986	490	5.3	514	194	97	5.3
養護教員	371	90	45	8.2	42	12	2	21.0
栄養教員	90	20	10	9.0	31	12	6	5.2
高等学校等教員	2,024	759	363	5.6				
合計	7,681	3,423	1,729	4.4	1,136	520	245	4.6

平成29年度登載 埼玉県管理職選考試験結果

	小中校長	小中教頭		県立学校	
		前期	後期	前期	後期
実受験者数	629(87)	364(84) ④43(6)		67(14)	
1次合格者		330(82)④含む		46(3)	21(5)
※前後期別合格者				36(5)	15(5)
※前後期別倍率				1.28	1.40
最終合格者	180(31)	238(68)		51(10)	
最終合格倍率	3.49	1.71		1.31	

平成29年度登載 さいたま市管理職選考試験結果

	小中校長	小中教頭
実受験者数	81(12)	93(9)
1次合格者		56(8)
最終合格者	24(4)	29(8)
最終倍率	3.38	3.21

* () 内は女性(内数)

* () 内は女性(内数) * ④…1次選考免除

班別会員数(平成29年1月末現在)

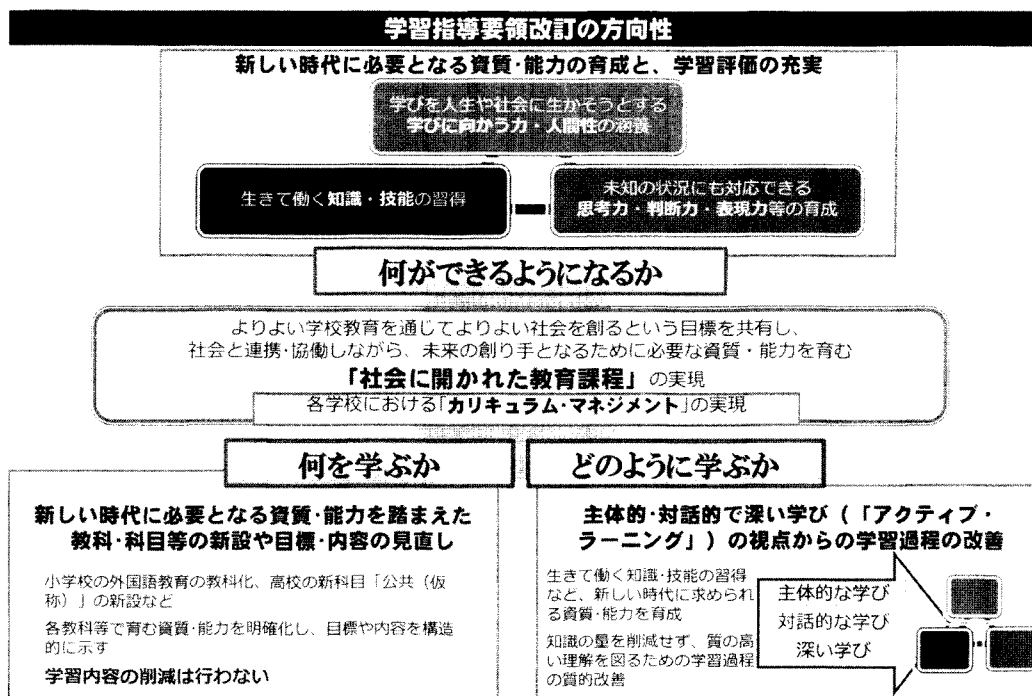
埼玉県退職校長会

支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計	支部	班名	会員数	合計
さいたま市	浦和	167	442	入間	越生	30	690	秩父	秩父市	90	202	埼玉	春日部	67	550
	与野	33			毛呂山	32			秩父	42			越谷	87	
	大宮	190			坂戸	67			小鹿野	33			久喜	110	
	岩槻	52			鶴ヶ島	10			皆野	37			八潮	26	
北足立南部	川口	203	464	比企	入間	50	139	大里	本庄	48	328	葛	蓮田	33	
	蕨・戸田	72			東松山	94			本庄児玉	31			三郷	41	
	草加	86			滑川	21			上里	22			白岡	24	
北足立北部	朝上	111	236	企	嵐山	17	303	北埼玉	美里	13	303	葛	宮代	35	
	鴻巣	125			小川	50			神川	25			幸手	54	
	川越	132			ときがわ	25			熊谷	186			杉戸	32	
	狭山	62			鳩山	9			深谷	102			松伏	14	
	所沢	141			川島	18			寄居	40			吉川	27	
飯能	73	吉見	24	行田	70	全会員数 3,626名 (10支部57班)									
日高	39	東秩父	14	羽生	76										
								加須	157						

学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（中教審答申）

平成28年12月21日、2年間にわたって議論されてきた次期学習指導要領に向けた中教審答申がなされた。本ニュースレターが発行されるころには、新学習指導要領が告示されるものと思われる。ここでは、その方向性の全体像を示すと共に、ポイントとなる項目について解説を加え参考にと供したい。（参考資料：中教審「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）」、その他）

1 改訂の全体像



2 改訂の基本方針

- ① これまで改訂の中心であった指導内容（「何を学ぶのか」）の見直しにとどまらず、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」まで見据えての改善。
- ② 学校と社会が連携・協働して子供たちを育む「社会に開かれた教育課程」の実現。
⇒子供たちが身に付けるべき資質・能力、学ぶべき内容等全体像を見渡せる「学びの地図」としての学習指導要領
- ③ 「生きる力」とは何かを具体化し、そのために必要な教育課程の枠組みを分かりやすく再整理。
- ④ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した「アクティブ・ラーニング」の視点から授業改善の取り組みを活性化。
⇒アクティブラーニングは、これまでも重視されてきた体験的な学習、発見学習、問題解決的な学習、探求的な学習、協働的な学習等々の総称であり、要は子供を主体的な学び手にする指導である。
- ⑤ 教育課程に関する基本原則を示す「総則」を抜本的に改善し、必要事項を分かりやすく整理。
⇒総則を手掛かりに、各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実施促進。
⇒教育課程の編成・実施・評価・改善の一連のPDCAサイクルを確立。
- ⑥ 次期学習指導要領等の実施に必要な条件整備について整理。
⇒このことに関しては、全連退でも意見陳述を行った。（「全連退情報」145号参照）

3 小・中学校の改善の方向

- ① 小学校
 - 国語教育の改革⇒読解力の向上、語彙力の強化、読書活動の充実
 - 外国語教育⇒5・6年生 正式教科化（70コマ／年）⇒週1コマ増
3・4年生 外国語活動（35コマ／年）⇒週1コマ増
18～19年度移行措置（前倒しで実施）
 - その他⇒古典に親しむ、地図帳を3年生で配付、プログラミング教育
- ② 中学校
 - 部活動の持続可能な在り方検討